



心の時代

志学ゼミ 田端進



先日は四年間志学ゼミでアルバイトをしてくれた学生、親子二代で通っていた塾生の就職祝いにOBが勤めるスーツメーカーでスーツをプレゼントしました。志学ゼミの恒例行事の一つになっていますが、私がこの仕事をしていて嬉しいことの一つです。今回は就職にまつわる大学生の就職活動の相談の一こまを紹介したいと思います。

そもそも大学に入る前に、自分が将来何をしたい、何をやってみたいと考えていた生徒はあまり問題はありません。しかし、とりあえず何を学びたいかはあったものの、何がしたい、どういった仕事に就きたいというものがいる皆さん、特に文系の学生に多いのですが就職活動の段階になって初めて悩み始めます。「塾長、私は何に向いているのでしょうか、何をしたいのかがまったくわかりません」などと自分の人生にもかかわらず、人任せにしようとする学生に、まずはこれまでの人生を振り返り自分の性格、特性がどう形成ってきたかを考えてみるよう伝えています。

自分の好きなこと、嫌いなことを五つ挙げてごらんと書き出させます。その項目を掘り下げていきます。その項目がどうして好きになったのか、過去の自分を振り返らせながら話を聴いていき、メモを取ります。話すことは問題を放すことになり、問題を客観的にとらえ整理し、自分で解決を思いつくことがあります。コーチングの手法です。

本年、なにも思いつかないと悩んでいるてんちゃん（ニックネーム）が相談に来ています。てんちゃんは本を読んだりアニメを見てよく感動をすることがわかりました。感受性が豊かなのです。しかし何かについて「できない」「無理」というマイナス発言が先に出ます。話の途中でもそういう発言が多いてんちゃんに私は彼女に「少女パレアナ」を読むことを勧めました。主人公のパレアナは何でも困ったことが起きる度に喜びのゲームに変えてしまうのです。足を怪我したら、「足のありがたさがわかるわね」と言います。プラス思考です。

ただてんちゃんは人のいいところを挙げられること、長所を見つけることが得意だということが分かりました。その本を読みアニメを見たてんちゃんは人が喜ぶことをしたいと言い始めました。人にプラスになる提案をしたい。「それに日常生活の中でという言葉を加えてごらん」と話しました。そうして「会社四季報をみながらピンと来るところを探してごらん」と付け加えました。そうして、てんちゃんは興味のある商品をこう使って、より快適な生活ができるといった商品企画をしてみたいという方向性が見えてきました。

もちろん性格、特性が大切です。てんちゃんは好きなアニメアイドルの声優を応援しています。そのグッズを集めたり、作ったりするそうです。好きなことには徹底的にのめり込んで凝るのだそうです。「そこだよ」と私はいいました。てんちゃんの特性が見えてきました。1つのものにこだわり生活空間をより快適するものを作ったり、販売している業界、会社を当たるように伝えました。

そしてエントリーシートに盛り込める内容が見えてきました。しかしエントリーシートになると別物に見えるようです。書いては直す日々が続いています。しかしこの就職活動で彼女は漠然と生きてきたこれまでの人生から自分で自分を見つめ直し特性を考え、いかに社会貢献をしていくかが少しずつ見えて来つつあります。とにかく就職活動のテクニックを使うことよりも自分の根本となる人格形成を振り返り、生き方を見つめ直すいい機会ととらえることが大切なことです。